

令和6年度日本気象学会東北支部気象研究会・仙台管区気象台東北地方調査研究会合同発表会次第

日時：令和6年12月2日（月）13時05分～17時15分
 仙台第3合同庁舎 2階大会議室（発表会場） オンライン配信あり

- I 開 会 仙台管区気象台気象防災部地域防災推進課長 開始予定 13:05
- II 挨拶 仙台管区気象台長
- III 連絡事項 仙台管区気象台気象防災部地域防災推進課 調査官
- IV 研究発表

発表持ち時間は1題14分です。時間を厳守願います。
 第1予鈴が、10分で鳴ります。まとめに入ってください。
 第2予鈴が、12分で鳴ります。発表を終了し、質疑応答に入ります。
 終鈴が、14分で鳴ります。質疑応答は終了です。
 ※発表の際は、最初に調査の概要についてお話ください。

1日目 令和6年12月2日（月）

座長：阿部予報課長

| | 発表者所属 | ☆：発表者 | 発表予定時間 |
|-------|---|---------|---------------------------------------|
| 1 | 2024年7月24日から26日にかけての大雨の事例解析 | 秋田地方気象台 | ☆上石亨、野口利世 |
| 2 | 7月25日秋田県・山形県の大雨事例解析 | 仙台管区気象台 | ☆柳澤かおり、中川巧一郎、山本浩之 |
| 3 | 2024年7月25日の山形県の大雨特別警報発表事例～大雨の概要、朝から昼過ぎまでの大雨の環境場の解析～ | 山形地方気象台 | ☆小林遥、佐藤浩生、高垣佳央、村松美幌、山川颯、森浩俊、遊佐充哉 |
| 4 | 2024年7月25日の山形県の大雨特別警報発表事例～夜遅くの大雨の環境場の解析とJMA-NHMによる線状降水帯の解析～ | 山形地方気象台 | ☆佐藤浩生、小林遥、高垣佳央、村松美幌、山川颯、森浩俊、遊佐充哉 |
| 5 | 日本域長期領域再解析（RRJ-Conv）における線状降水帯の特徴 | 東北大学 | ☆島村優作、伊藤純至（東北大学理学研究科）、福井真、廣川康隆（気象研究所） |
| 【休 憩】 | | | 14:30～14:45 |

座長：東北大学 山崎教授

| | 発表者所属 | ☆：発表者 | 発表予定時間 |
|-------|---|---------|---|
| 6 | MEPSクラスタリングとベイズ推定に基づく最適シナリオ選択のための台風統計調査 | 仙台管区気象台 | 山口純平 |
| 7 | SCALE-LESを利用したMYNNモデルの経験的パラメータや関数形の検討 | 東北大学 | ☆尾前亮太郎、伊藤純至（東北大学理学研究科） |
| 8 | 2024年2月26日から27日にかけての沿岸北部の大雪－NHM感度実験－ | 盛岡地方気象台 | ☆岩瀬 文也、山本 健太、小田島 秀明、中川 功一郎（仙台予報課） |
| 9 | ひろだい白神レーダーの観測データを用いた津軽地域の雪雲モードの解析 | 弘前大学 | ☆多田 直起（弘前大学大学院理工学研究科）、谷田貝 亜紀代（弘前大学大学院理工学研究科）、池森 凜（一般財団法人日本気象協会） |
| 10 | 広域（一次細分区域）を対象とした深層学習による濃霧画像の判定モデル開発 | 仙台管区気象台 | 間野正美 |
| 【休 憩】 | | | 16:00～16:15 |

座長：予報課 加茂主任予報官

| | 発表者所属 | ☆：発表者 | 発表予定時間 |
|----|--|---------|---|
| 11 | 岩手県の西風暴風WS改良に向けた検討－暴風発現時の特徴－ | 盛岡地方気象台 | ☆山川 大希、横田 紘弥 |
| 12 | おろし風レジーム図を応用した八戸暴風予測アプリの開発 | 青森地方気象台 | 菅原海大 |
| 13 | JMA/NHMを用いた2023年7月14日から16日にかけての秋田県の大雨のシミュレーション | 弘前大学 | ☆熊谷真琴（弘前大学理工学部）、谷田貝亜紀代（弘前大学大学院理工学研究科） ☆谷田貝亜紀代（弘前大学大学院理工学研究科）、上野優（日本気象協会）、芳村圭（東京大学生産技術研究所）、Hayoung Bong（NASA/GISS）、川代迅（日本気象協会）、前田未央（弘前大学大学院理工学研究科）、Yang Yan（東京大学生産技術研究所）、大堀楓河（弘前大学理工学部） |
| 14 | 弘前における降水と水蒸気の安定同位体比変動－爆弾低気圧に伴う降水の水蒸気源解析－ | 弘前大学 | |